

令和2年度 道徳教育全体計画

岡山県立西大寺高等学校
道徳教育委員会

諸法規
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領

「高等学校指導要領」における目標
生徒が自己探求と自己実現に努め国家・社会の一員としての自覚に基づき行為しうる発達の段階にあることを考慮し、人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

各教科・科目	
国語	適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、生活や人生についての考えを深め、よりよく生きる態度を養う。
地理歴史	世界の様々な国の生活や伝統、考え方の違いについての認識を深め、お互いの文化を尊重し合うことの大切さを理解し、国際社会に生きる日本人としての自覚を育む。
公民	現代社会について主体的に考察することで、自由および権利の保持のためには我々自身の努力が必要であることを認識させ、民主的・平和的国家的形成者としての自覚を育む。
数学	基礎、基本的な学力や数学的思考力を身に付け、冷静な判断力を養い、社会人としての生きる力を育成する。
理科	自然の事物・現象を知ることにより、自然の中での人間の役割を理解させ、自他の生命を尊重する態度を育む。実験を通して、共同作業の大切さを学ばせる。
保健体育	健康的な生活習慣を身に付け、好ましい環境を作るための知識と能力を高める。生涯スポーツに向けて運動能力を高め、お互いが助け合い、協力し実践する態度を育む。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を培い、個性を尊重する精神を養う。
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
家庭	人間の健全な発達について総合的に学習し、社会とのかかわりについて理解を深める。男女が協力して家庭や社会を築いていくための実践力を養う。
商業	経済社会の仕組みを理解する中で、望ましい人間関係の形成や社会性、社会的なモラル、ビジネスマナーなどの倫理観の育成を図る。
英語	英語を学習することを通して、言語や文化に対する理解を深める。コミュニケーション能力を高め、相手の意思や意向を理解しようとする態度を育てる。ディベートやプレゼンテーションを通して、コミュニケーション能力を育成する。
情報	モラルや著作権について学び、他者の権利を尊重する態度を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度をはぐくむ。

校訓
<ol style="list-style-type: none"> 1 知性を高め、教養豊かな品位ある人格を希求する。(知性) 2 自らを律し、協調性のある視野の広い国際人を目標とする。(自律) 3 心身を鍛え、人間性に富む明朗有為な社会人を志向する。(健康)

本校のミッション
 旭東地区の拠点校として、普通科・商業科・国際情報科それぞれの特色を活かしながら、豊かな知性と自立心を持った健康で人間性豊かな人材を育成する。

ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン
 ○社会貢献活動など様々な体験活動や地域との交流を通して、豊かな人間性を身に付けた生徒を育成する。
 ○明確な進路意識・課題意識を持ち、将来の目標達成・課題解決に向かって果敢にチャレンジする生徒を育成する。
 ○郷土岡山や日本の歴史・文化を理解するとともに、海外短期研修等を通じて国際感覚とコミュニケーション能力を兼ね備えた生徒を育成する。
 ○あらゆる状況に対応できる確かな学力を身に付けた生徒を育成する。

当該年度の具体的な学校経営目標・計画(重点)

新しい時代を生き抜く力を持った生徒の育成
 ～自己肯定感を高め、進路目標に向かって主体的に学ぶ生徒の育成～
 1 学びの環境を整備し、生徒の能力を最大限に引き出す。
 (1) 物理的・精神的環境を整え、生徒の心身の健全な成長を支援する。
 (2) 進路指導(=キャリア教育)体制を再構築し、生徒・保護者・地域の満足度を高める。
 (3) 地域の人的・物的支援を活用しながら生徒の挑戦を支援し、生徒の希望の実現に努力する。
 2 生徒の論理的思考力を高め、考える力を基盤とした七つの力の獲得に努める。
 (1) 主体的・対話的で深い学びの実現を核として授業力向上に努める。
 (2) 生徒の活動を肯定的観点から評価し、エビデンスに裏打ちされた教育活動を行う。
 (3) 探究活動の充実を通じて、地域貢献意識や自己肯定感を高める。
 3 小中学校・地域との連携を進化させるとともに、中学校向けに広報活動の充実を図る。

ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン
 1 一人一人に確かな基礎学力を身に付けさせる学習指導を実践する。
 2 将来の夢や希望の実現を手助けする進路指導を実践する。
 3 自らを向上させる力を養い、健全な社会生活を営む人づくりを目指す生徒指導を実践する。
 4 自主的な活動を通して、将来の生きる力を培う特別活動を実践する。
 5 自主・自律の精神を高め、正しく物事を判断して誠実に実践し、その結果に責任を持つ態度を育成する。
 6 礼儀作法の意義を理解し、時と場に応じた適切な行動がとれるようにする。
 7 生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重できる人間性を育成する。

研究課題

道徳教育推進教師を中心として、公民科をはじめとする各教科、特別活動、総合的な学習(3年)、探究(1, 2年)の時間などにおける道徳教育及び生徒指導と進路指導を通して、よりよく生きる人間としての在り方生き方をはぐくむための指導方法について研究開発を進める。

- 1 人間としての在り方生き方の自覚を深める道徳教育を推進する。
- 2 多様な道徳教育用教材を選択・開発し効果的に活用する。
- 3 体験活動及び特別活動において道徳性を高める指導を工夫する。

人権教育
 ○日本国憲法、教育基本法の精神に基づいて、基本的人権及び民主主義の大切さを身につけるとともに、さまざまな人権問題についての正しい理解と認識を持った生徒を育てる。
 ○人権を正しく主張し、差別を許さない、問題解決のための意欲と実践力を持った生徒を育てる。
 ○すべての教職員があらゆる教育の場面において、研修と実践に取り組む。
 学校教育としての自主性・主体性を堅持しながら進める。
 ○生徒の自主的な活動を保障し、援助する体制を確立する。
 ○生徒の進路を保障する体制を確立する。

人権教育委員会
 ○人権教育LHRや各教科での指導を通して、人権意識の高揚を図り、人権問題に対する正しい理解と認識を深めさせるとともに、人権が持つ価値や重要性を共感的に受け止めるような感性や感覚を育成する。
 ○生徒一人ひとりの個性を尊重し、それを重視した学習活動を通して、自尊感情や自己決定力を高め、自己実現に向けて必要な力を身に付けさせる。
 ○人権に配慮した指導や学校運営に取り組む。

学校評議員会
 評価・点検を行う。

総合的な学習(3年)、探究(1, 2年)
 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようになる。
コミュニケーション能力育成プログラム
 情報や考えなどを的確に理解し自信を持って表現できる力を身に付けることで、周囲の状況を正確に把握し、柔軟な人間関係を築き、自他を尊重しながらまわりの人たちと進んで協力し合い効果的にものごとに取り組める力を育成する。

社会貢献活動
 社会貢献活動を通して、本校生徒の道徳性を高めるとともに、地域社会からの期待感を自覚させ、達成感や自己肯定感の涵養を図ることで、学習をはじめとする学校生活に能動的・主体的に取り組む姿勢を養う。

進路指導委員会
 ○将来の生き方、生活の仕方を考え、主体的に自己の進路を決定し、志望を達成させる。
 ○将来、自分自身のキャリアパスを自ら切り拓いていけるような学力とコミュニケーション能力を持った人材の育成をめざす。

P T A
 清掃活動・学校行事へ参加する。

内外の環境
地域・保護者
 ○地域の伝統校として地域・保護者から信頼と期待がある。特に商業科には強い信頼がある。
 ○PTAと同窓会の本校への関心は強く、行事等の学校支援が充実している。
 ○交通の便がよく、岡山市全域及び東備地域から志願者が多く、高倍率を維持しているが、旧学区から他校への流出が続いている。
 ○東区・東備地域の人口・生徒数は減少が続いている。

生徒・自主活動
 ○部活動や生徒会活動が活発で、複数の部が全国大会に出場している。
 ○素直で誠実であり、基本的な社会常識を持つ生徒が多いが、自己肯定感や学習環境、進路選択において課題がある。
 ○総合的な支援を必要とする生徒が一定数いる。

教育課程・教育環境
 ○3学科それぞれに持ち味があり、補充・刺激し合っよい影響を与え合っている。
 ○ホームルーム教室・特別教室にICTが整備されているが、利便性や活用頻度等に課題がある。
 ○様々な教育活動を通して、グローバル教育を推進している。
 ○キャリア教育の中で、コミュニケーション能力(7つの力)の育成を推進している。

各学年の目標	
1年	○家庭学習習慣を定着させ、学習を中心に据えた基本的な生活習慣の確立を図る。 ○CCTにおける探究活動や進路研究、社会貢献活動など様々な体験活動を行い、明確な進路意識・課題意識を持たせ、社会性や規範意識を伴った人間性豊かな生徒を育成する。
2年	○主体的な学び、対話的な学び、深い学びの必要性を理解させ、将来の進路実現を目指す継続的な学習に取り組ませる。 ○社会貢献活動などさまざまな体験活動や地域との交流を行い、交流を通して社会の諸問題について考え、生徒自身の進路意識を深める。
3年	○進路実現に向けて適切な進路指導を行い、生徒の能力を最大限に発揮させた目標を実現させる。 ○7つの力の育成・伸長を図る。(その中でも「傾聴力」と「発信力」に重点を置き、企業(大学)担当者と活発にコミュニケーションが図れる人材を目指す)

特別活動
 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方、生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

HR活動
 ホームルームや学校生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行う。

生徒会活動
 全生徒によって組織された生徒会において、学校生活の充実や改善向上を図ろうとする自主的な態度を養う。

学校行事
 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行う。

部活動
 文化的・体育的活動をとおして心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感などを養う。

生徒課
 学校内外での諸活動を通じて、生徒が豊かな人間性や社会人として必要な資質を身につけるための援助を行う。